

港湾事業特別会計

留萌市地域振興部経済港湾課港湾振興係
TEL 0164-42-1840

総括

留萌港は、旭川市を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。
留萌港では、一度に大量の貨物を輸送することができる大量低コスト輸送に対応すべく、三泊地区に-12m岸壁を整備しており、現在では3万トン級の大型船舶が入港しています。また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受入れが可能であり、防災拠点としても大きな役割を担っています。
留萌港における主な取扱輸入貨物は、石炭、石油製品、アスファルトなどで、令和元年の取扱輸入貨物量は、370,832tで平成30年と比較して165,511t(△30.9%)減少となりましたが、その要因として、石炭の輸入量が奈井江火力発電所の休止により大幅に減少したことによります。また、取扱輸出貨物は全て原木であり、輸出先は中国及び韓国となっています。取扱輸出貨物量は8,365tで平成30年と比較して3,058t(△26.8%)の減少となりました。

収入

■前年との比較

①港湾使用料

港湾施設用地使用料の減少に伴う減

②繰入金

収支不足のため一般会計より補てんしているもので、前年度より収支が改善したことによる減

③市債

市債は、資本費平準化債となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	令和元年度			平成30年度		平成30年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①港湾使用料	55,522	56,444	32.2	56,741	31.1	△ 297	△ 0.5
②繰入金	76,666	71,698	41.0	76,777	42.1	△ 5,079	△ 6.6
③市債	46,900	46,900	26.8	48,800	26.8	△ 1,900	△ 3.9
④諸収入	0	0	0.0	0	0.0	0	-
合計	179,088	175,042	100.0	182,318	100.0	△ 7,276	△ 4.0

支出

■前年との比較

①港湾施設費

引船(隆萌)整備費や船舶給水管移設費の減少に伴う減

②公債費

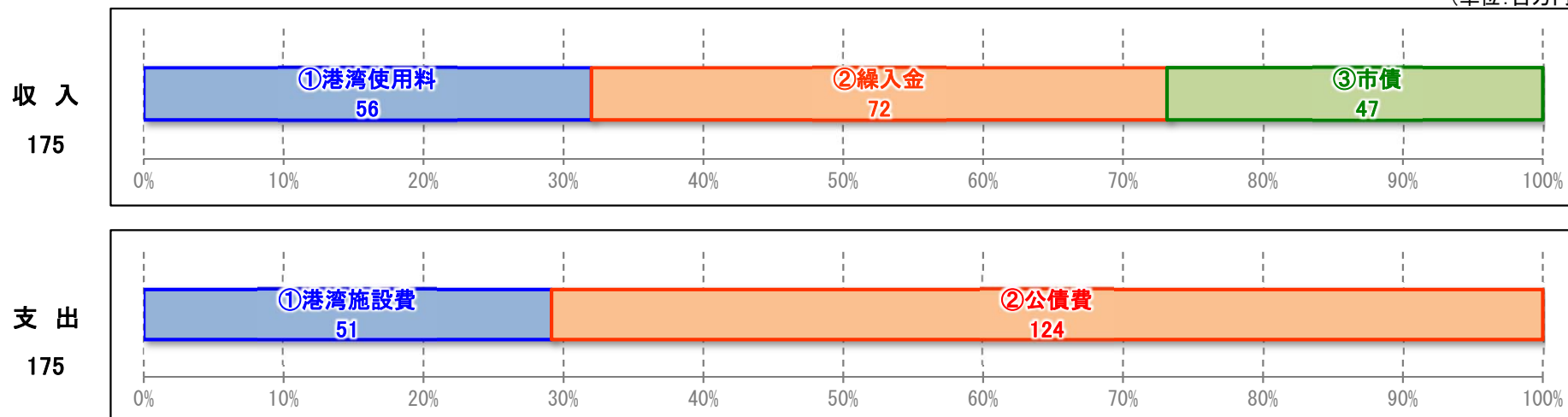
利率見直しによる金利の低減による減

(単位:千円、%)

予算科目	令和元年度			平成30年度		平成30年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①港湾施設費	54,428	51,393	29.4	53,936	29.6	△ 2,543	△ 4.7
②公債費	123,660	123,649	70.6	128,382	70.4	△ 4,733	△ 3.7
③予備費	1,000	0	0.0	0	0.0	0	-
合計	179,088	175,042	100.0	182,318	100.0	△ 7,276	△ 4.0

収支の状況（令和元年度決算）

（単位：百万円）



令和2年度執行状況（9月30日現在）

収入

■収入の状況

- ①港湾使用料 港湾施設（土地）の使用料、船舶給水使用料、引船使用料などで、収入率は約70%となっています。
- ②繰入金 市から港湾事業への繰出し（負担）で、年度末の収入となります。
- ③市債 資本費の平準化のために発行しており、年度末の収入となります。

（単位：千円、%）

予算科目	令和2年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①港湾使用料	53,809	37,688	70.0
②繰入金	93,888	0	0.0
③市債	38,900	0	0.0
合計	186,597	37,688	20.2

支出

■支出の状況

- ①港湾施設費 人件費や委託料、燃料費、光熱水費の支払いなどに執行されています。
- ②公債費 市債（借金）の返済は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

（単位：千円、%）

予算科目	令和2年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①港湾施設費	76,332	18,189	23.8
②公債費	109,943	54,712	49.8
③予備費	322	0	0.0
合計	186,597	72,901	39.1

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、繰入金の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。